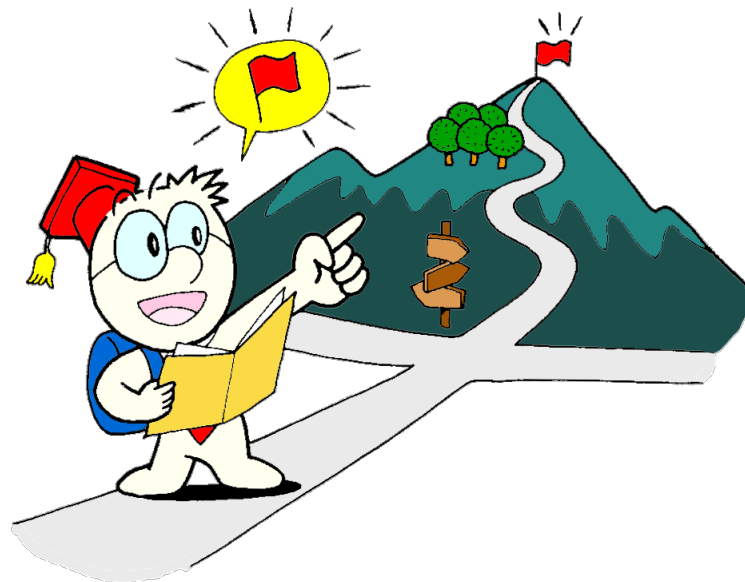


発明くんが掲げる、会社の「知財経営理念」

知財経営理念

経営戦略=商品戦略=技術戦略=知財戦略

1. 知財部門は、知財業務に関わる全ての管理と運営責任を負っている。また会社経営方針に沿った「知財戦略」を立案し、策定する責任がある。
2. 知財管理に関する事項は全社的に及ぶものであり、その対策にあたっては、経営方針に沿い、会社組織の各方面にわたってそれぞれの任務や立場で対処する。
3. 新商品、新技術の開発において、①知的財産の安全を確認する。②自由に開発ができる技術領域と優位な事業領域を確保する。③無駄な特許出願を防止する。
我々知財部門は、その支援を行う。



第4次産業革命時代(IoT, AI)は、情報(ビッグデータ)が頂点にあり、解析、診断、予見、通信等に
使われる技術要素は極めて複雑で多岐に及ぶ。またデータやソフトウェアといった知的財産を
特許だけで保護することは限界がある。特許の価値(地位)は明らかに低下していく。今後は特許、
実用新案、守秘技術(営業秘密、ノウハウ等)、商標、意匠、そして特に著作権を重視した総合的
な「知財マネジメント」が必要となる。まさに「特許時代」から「知的財産時代」への革命時期にある。

1.知的財産部の【知財力】評価:遊び心でお願いします

問	チェック項目	思う	まあ思う	どちらともいえない	やや思わない	思わない
1	知的財産部の社内評価(地位)は高く、三位一体(事業推進部門・研究開発部門・知的財産部)の知財を重視した「知財経営」の戦略体制が整っている。	5	4	3	2	1
2	会社の「知財戦略」を立案し、経営陣、事業責任者、および開発責任者の「決裁・承認」を得て、策定した「知財戦略」を全社に向けて「推進・展開」している。	5	4	3	2	1
3	経営陣、事業責任者の情報ニーズを的確に掴み、関連する情報収集(マーケティング調査)と「分析・解析」を行い、経営戦略、あるいは事業戦略に組み込める情報提供ができる。「情報参謀役」としての役割を果たしている。	5	4	3	2	1
4	経営陣、事業責任者、開発責任者に対して、新事業分野、新技術分野に関する知財権の権利状況、競合企業の事業展開動向、関心技術の動向等を分かり易く加工して伝えることができる。	5	4	3	2	1
5	知的財産の創出支援と、内外国で取得した「知的財産権の保護及び活用が「知財サイクル」として循環している。	5	4	3	2	1
6	会社が求める知財業務の全てを「理解・把握」できおり着実に実行されている。知財の事業貢献度、活用度、棚卸し、費用対効果等を含めた知財の評価をしている。発明技術の評価は「個別評価」と「相対評価」の両方を採用している。	5	4	3	2	1
7	特許出願や論文等で公開する「開示知財」と、社内で秘匿すべきノウハウ技術や営業秘密といった「守秘知財」の運用マネジメントシステムが構築されている。	5	4	3	2	1
8	研究開発技術者に対して、知財支援(発明技術の発掘、発明本質の捉え方、発明提案書の書き方、侵害予防の調査、侵害鑑定の調査等)が的確に行われており、開発の二重投資といった失敗は避けられている。	5	4	3	2	1
9	研究開発部門への「特許出願ノルマ」を課さなくても、発明提案書の届け数は多い。発明提案書を知財部で採択し、発明者とのレスポンスを重ねたうえで出願の可否等を決めている。	5	4	3	2	1

10	世界で通用する特許明細書を作成し、バリエーション豊かで強固な権利の取得を目指し、「パテント・トロール社」等から知財係争(イチャモン)に巻き込まれない体質になっている。	5	4	3	2	1
11	ライセンス契約、共同開発契約等の諸契約書(案)を作成し、関係者の「審査・承認」を得る連携作業はスムーズある	5	4	3	2	1
12	知的財産部署の責任者(部長)は、強いリーダーシップを発揮し、その方向性は正しく公平であるから部署のマインドは高く強い組織になっている。	5	4	3	2	1
13	権利侵害の救済や防御、あるいは模倣品対策といった解決が難しいトラブルに対して、対応能力が高い「対策プロジェクトチーム」を速やかに編成できる。	5	4	3	2	1
14	任された仕事に対する知財部員の処理能力は高い。また自分の「知財スキル」を上げなければ「居場所」が無くなる、という緊張感もある。	5	4	3	2	1
15	部内でのコミュニケーション方法は、偏っていない。確認や連絡はメール(ドライ・コミュニケーション)で、複雑な打ち合わせは面談(ウェット・コミュニケーション)で行われている。	5	4	3	2	1
16	部内でのコンプライアンスは順守されており、公正に仕事が進められている。外部に対しても不当な「業者いじめ」等を行われておらず、相互の信頼の上で仕事が進められている。	5	4	3	2	1
17	社員への知財教育は、受講者の対象に合った講座力が、夫々用意されている。また受講者が自分に合った必要な講座を選べる環境(E-ラーニング等)も整備されている。	5	4	3	2	1
18	外部機関で開催される知財研修は、本人の希望があれば参加させている。講師を招いての「社内知財研修」は、ニーズに応じて実施している。(講師探しが悩ましいけど・・・)	5	4	3	2	1
19	自社の「知財活動報告書(知財白書)」は、定期的に社内、社外へ発行しており、会社のIR活動にも役立たせている。	5	4	3	2	1
20	知財部はサービス業(支援業)であることの自覚と遣り甲斐を持っており職場のマインドは高く、明るく、風通しが良い。	5	4	3	2	1
合 計						

1. 80-100点 : 知財経営で事業を成功させ、会社の持続的発展に貢献できます
2. 60-80点 : 弱いところを直視し、補強していけば強い知的財産部になれます
3. 40-60点 : お咎めなし、リストラは会社の業績次第で、運まかせです
4. 20-40点 : 引きこもり状態に陥っていますので要注意です
5. 00-20点 : こんな痴財部なら、もう要らない！早く消え去るのみです

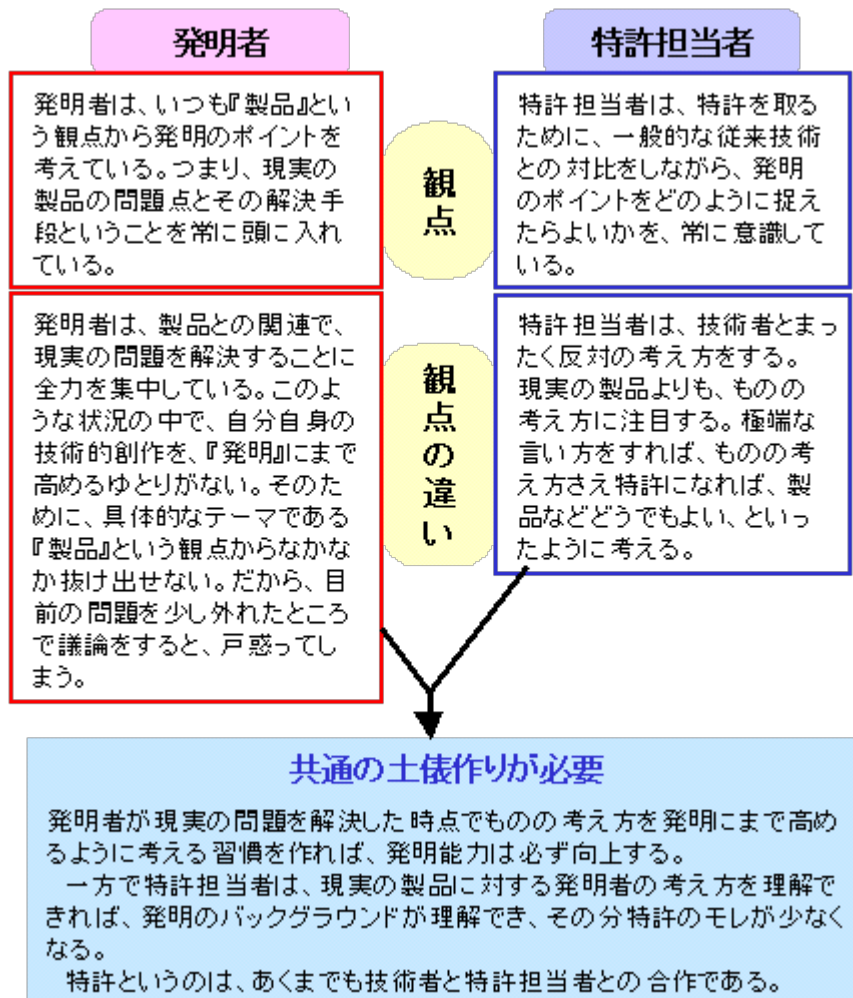
2.知的財産部の【知財管理能力】評価：文書品質、情報保護、等

問	チェック項目	思う	まあ思う	どちらともいえない	やや思わない	思わない
1	部内で採用している「特許出願管理システム」は「身の丈」に合っており、そのシステムが備えている機能が有効に活用されている。	5	4	3	2	1
2	内外国の多様な特許(文献)調査ニーズに対応できる特許(文献)データベースへのアクセス環境が整えられている。	5	4	3	2	1
3	特許事務所が作成した特許出願明細書(案)を相互でチェック、精査を行う体制を採っている。自社が意図する権利の取得に大きなエネルギーを賭けている。	5	4	3	2	1
4	発明者が作成した発明提案書(発明届書)を元にして、発明技術を強固な特許(知財)に仕立てる支援体制ができています。	5	4	3	2	1
5	新しい技術用語、業界で使われる業界用語、定義の無い「新語・造語」、外来用語(カタカナ用語)、曖昧表現等の統一をするための「文書作成用辞書(インフラ)」を構築している。	5	4	3	2	1
6	知財関連の諸契約書(ライセンス契約、共同開発契約、秘密保持契約等)の雛形は用意されており、その「内容・手順」は詳細、かつ具体的な様式で示されている。	5	4	3	2	1
7	会議の議事録は、経過、結論、宿題を明確に記し、共有されている。また、会議開催のルール(時間等)は決められており順守されている。	5	4	3	2	1
8	過去に行われてきた「調査報告書類」が整理、共有されており「同類テーマ」、あるいは「類似テーマ」の特許調査が効率良く正確に行われる環境を整えている。	5	4	3	2	1
9	会社から失われていく記憶(失敗例、成功例)を残す為の文書や実験データ等の管理ができています。先人たちが築いて来た「知恵・技能」といった暗黙知を顕在化し、共有化して次世代へ伝承されていく知的基盤(インフラ)が構築されている。	5	4	3	2	1
10	筋の良い研究開発テーマを発掘するのに必要な個人が持つ「技術データベース(特許、論文、文献、新聞、雑誌等の雑情報など)」を関係者(チーム)が共有し、更にデータベースを進化させる「知的情報基盤」の構築環境が用意されている。	5	4	3	2	1

11	情報資産のセキュリティマネジメントシステム(ISMS)は構築、運用されている。その教育も適宜に実施されている。特に秘密情報(設計図面等)の流出防止策に注力している。	5	4	3	2	1
12	特許調査や特許翻訳等を外注化する場合は、秘密保持契約書を交わす規定があり順守されている。また発注書、請け書、検収書といった外注化手続きの書式も整えられている。	5	4	3	2	1
13	特許調査や特許翻訳等をアウトソーシングする場合は、業者の知名度や会社規模に囚われずに、品質を維持できる能力、品質に拘るプロ意識、丁寧で誠実な対応などを重視して選んでいる。	5	4	3	2	1
14	外注化した特許調査や翻訳等は、「受け入れ検査基準書(マニュアル等)」を元にして、成果物の品質チェックを行っている。	5	4	3	2	1
15	グローバル知財で活躍できる知財スタッフは揃えている。海外現地事務所とのやり取りは、英語で直接やれている。外国でのトラブルを助けてくれる海外人脈がある。	5	4	3	2	1
16	国際特許出願明細書の品質がチェックできる「基準特許出願明細書(英文が適している)」を作成し、外国特許出願明細書の品質検査(ゲージ)に使っている。	5	4	3	2	1
17	翻訳辞書(例:日本語⇄英語⇄中国語)は社内で構築されており、海外向けの技術用語、及び表現は統一している。海外では「分かりやすい文書である」との評価を得ている。	5	4	3	2	1
18	外国出願の文書品質はバラツキがなく、出願コストも抑えられ欧米企業との「品質とコスト」でのハンデイは克服されている。更なる翻訳品質の安定化と翻訳コストの削減を実現させるために、「AI(翻訳)」の活用を日々研究している。	5	4	3	2	1
19	海外出願は国内特許事務所への「丸投げ」でなく、基本的には自社で管理している。「逆翻訳チェック」も行っている。	5	4	3	2	1
20	知財業務の「業務毎マニュアル」が整備されており、内容も時代変化に合わせて改定している。	5	4	3	2	1
合 計						

1. 80-100点 : 知的財産の創出、保護、活用は万全で素晴らしいです
2. 2.60-80点 : 特許管理から知財管理への改革が進んでいます
3. 40-60点 : いつまでも「ぬるま湯」に浸れる保証はありません
4. 20-40点 : 蝸壺から抜けられず、リストラは避けられないでしょう
5. 00-20点 : これだけ酷ければ、家名断絶、取り潰しも当然です

【参考資料】: 発明者と特許担当者は、共通の土俵づくりが必要



御互いが「蝸壺」に入らず、自分の専門領域に引き込まないことが肝心です

知的財産部は危険な同質化集団になっていませんか

同質のいい意見は“そんなのあたり前”

異質のいい意見は“そんなことできない”となります

(*)上図の資料提供は、弁理士 嶋 宣之(ひとくちメモ)から

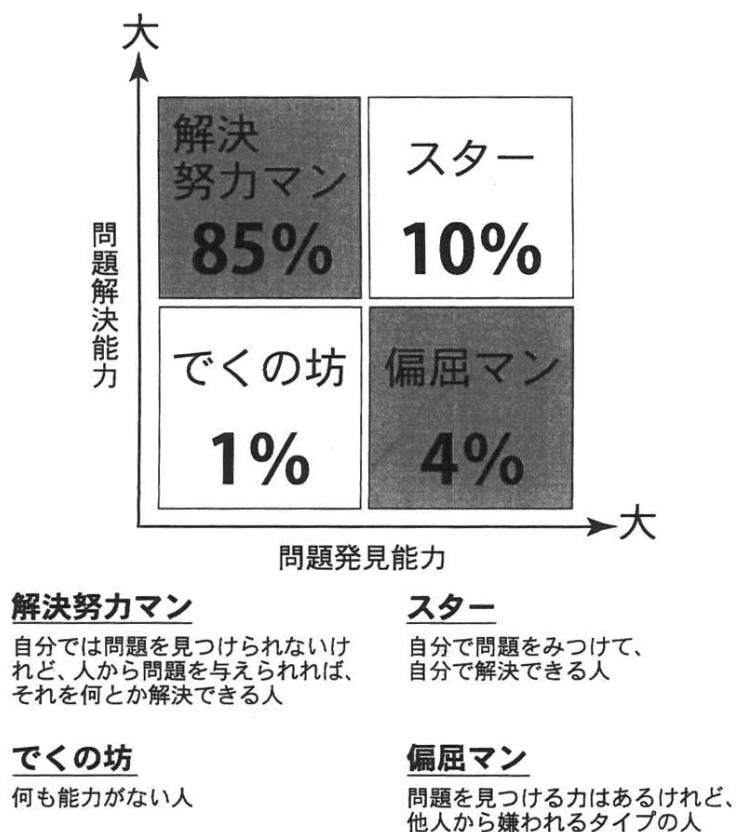
【参考資料】: 会社の持続的発展の鍵は、人材の使い方次第

職場を救うスター！は 10%

他人から問題を指摘されれば、それを解決できる解決努力マンは 85%

いずれにしても、スターは10%しかいません。それを多いと考えるか、少ないと考えるかは人によって異なりますが、一般的には少ないと思います。解決努力マンの85%は、殆ど全部と言ってよいほどの数字です。ですから85%の中には、いわゆる頭の良い人がたくさん含まれています。この図からわかることは、良い問題さえ見つければ、それを解決してくれる優秀な人は、たくさんいるということです。

余談) : 改革は、いま居心地のいい人にとっては困ります。改革を進めようとする、足を引っ張る人が20%、共感する人が20%、風見鶏が60%という図式になるそうです。例え改革が成功しても、また新しい「既得権」が生まれます。それが次の改革を遅らせます。



(*) 上図の資料提供は、弁理士 嶋 宣之の「ひとくちメモ」から

【参考資料】:なかなか変わらないのが人の意識

リストラに合わない為には社員の意識を変え、会社の持続的発展を遂行せねば会社は何れ消滅し、社員の運命も変わります。これからは、会社に「しがみつく」ことさえ難しくなります。まず、屈辱に耐える根性が要ります。ぶら下がるにしても体力が要ります。折角ぶら下がっているのに、下から足を引っ張られることもあります。ぶら下がりながらも、それを「シッシ」と、払いのけなければならない目配りも必要です。もっと酷いのは、ぶら下がっている指を一本一本はずしにかかる場合もあります。腕力と指の力をつけて足蹴りも覚えなさいといけません。勿論、こんな笑い話をして楽しむ余裕は無いです。とにかく大変な世の中になってきました。

【人の意識が変われる時は】

- 1.良い指導者(リーダー)に巡り合えたとき、
- 2.目標が見えたとき、
- 3.周りから必要とされたとき、
- 4.会社の業績が落ち込んでいるとき、
- 5.会社が「崖淵」に追い込まれたとき、
- 6.リストラにあったとき、



【参考資料】:「将」が持つ「徳」について、上が駄目だと下も駄目である

孔子いわく“上に立つ者が正しい行いをすれば下の者もついてくる”。

リーダーは強い信念を持って「上下一体」で動く組織にしておかねばならない。

- 「仁」:相手の生活が成り立つように思いやりの心を持つ
- 「義」:人間として正しい道を歩く、正直である
- 「礼」:礼を尽くし、他人に敬意を表す
- 「勇」:勇気を持って正しい決断をする
- 「智」:先をみる目、方向性を決める目、すなわち洞察力を持つ、
- 「信」:約束は必ず守る、嘘をつかない、隠さない
- 「謙」:威張らない、謙虚である
- 「寛」:心が広く、人の過ちを受け入れる寛容さがある
- 「忠」:受けた恩は忘れず、誠実で、真心がある

組織を活性化するためには、例え異分子であっても登用せよ！という説があります。即ち、リーダーは、理論整然としており、部下の直言、苦言等を受け入れ、正面から向き合える器量が必要ということのようです。

